



施工説明書

内装用羽目板

この度は天龍木材㈱の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。お買い上げいただいた商品をきれいに仕上げ、
最良の状態でご使用いただくため施工前に必ず「施工説明書」をお読みいただき正しく施工してください。

● 施工前のご注意

- 品質管理には万全を期しておりますが、万一不都合な品物がございましたら必ず施工前にお申し出ください。
施工後の苦情・返品・交換には応じられない場合がございますのでご了承ください。
- 内装用羽目板は外装には使用しないで下さい。
- 内装用羽目板は水の掛かりやすい場所、湿気が多い場所、直射日光のあたる場所を避け、風通しのよい場所に保管してください。
また、壁に立てかけたり、地面に直接置かないでください。
- 内装用羽目板は天然木ですので1枚1枚すべて色柄が異なります。施工前に仮並べをして全体として色調のバランスをとってください。
また、カスリや金筋等、天然木特有の模様が入る場合がありますのでご了承ください。

1/下地の施工

- 柱・間柱・胴縁は、乾燥した反りのないものを使い303~455mm(1尺~1.5尺)間隔で仕上げてください。
- 縦貼り・横貼り・斜め貼等ができます。5.5mm以上の合板を捨て貼りしてから、羽目板を貼ってください。
- 捨て貼りした合板に、柱・間柱・胴縁等の位置を墨出ししておいてください。
- 石膏ボードの上から貼る場合でも、石膏ボードの下の柱・間柱・胴縁等の位置を墨出ししておいてください。

2/仮並べ

- 天然の無垢材の為、色・柄等が異なります。施工前に仮並べして色・柄のバランスを確認してください。

3/貼り方

- 下図のように、下地に釘打ちして、羽目板を固定してください。
この場合必ず墨出した場所に釘打ちし、柱・間柱・胴縁等に確実に固定するようにしてください。
- 無垢材の為、湿度・温度(日当たりの有無)により収縮・反り等が生じる恐れがあります。環境に応じて突き付けをきつめ又はゆるめにしてください。
- 羽目板は釘打ち施工が基本です。接着剤を併用した場合、材料の収縮により割れが発生する場合がありますのでご注意ください。

本実目透し・V溝加工	本実突き付け加工	外装本実加工	相決り加工
MS100(スギ) MH100・116(ヒノキ) MAH97(青森ヒノ) URP120・86(レッドパイン) URPS120(レッドパイン) MRC145(レッドシダー) MPR100(ビーチ) MSBH115(バスハメ)	MSS160(スギ) MSSC160(焼杉) ※内装使用の場合 MKM110(信州から松) MRC129(レッドシダー) MRC78(レッドシダー) MSPF96(スギ) MSPF105(スギ) MHPF105(ヒノキ) MHPF110(ヒノキ) MSFM96(スギ) MSFM105(スギ) MHFM105(ヒノキ) MHFM110(ヒノキ) CED(シダーージュ)	MSSC160(焼杉) ※外装使用の場合	MSA160(スギ) MYU160(スギ)

● 日常のお手入れ

- 日常のお手入れは、きれいな乾いた布で乾拭きしてください。
- 汚れのひどい場合は、硬く絞った雑巾で素早く拭いてください。場合によっては少量の中性洗剤を水に入れ硬絞りした雑巾ですばやく拭き取るようにしてください。

その他ご不明な点がございましたら、当社または当社の営業担当者までお問合せください。



天龍木材株式会社

〒438-0207 静岡県磐田市宮本350
TEL0538-66-1125